

## 行仙宿・次回行事の事前調査と荷上げ

◇ 実施日：平成26年5月18日(日)；晴、気温18℃。

◇ 参加者：沖崎吉信、川島 功、生熊敏男、生熊千満子、

畑林秀味、畑林清子、益田正子 計7名。

沖崎さんと次回行事の荷上げを何時実施するか相談している  
と、畑林清、益田さんが久しぶりに行仙宿に行くとの情報があり、  
急遽生熊ご夫妻を誘って一緒に行く事にした。

5月の連休中時に比べると、山の新緑が濃くなり、葉を一杯  
広げた木々のこぼれ日の日差しも強くなり初夏を感じる。

登山口駐車場には、笠捨山に友達と登ると聞いていた、高階  
美根子さんの車が既に駐車されている。

荷上げ品は、吉開賢淳師から寄贈の缶ビール1箱+お茶(500ml  
×24本)1箱、缶ビール2箱(当会)、足場番線50本、バーベキ  
ューセット、紙コップと・防虫防臭錠(畑林さん提供)、プラ洗面  
器(2)などである。

当初の二人では、荷上げが無理な量であったが、多人数とな  
り手分けをして全て荷上げが出来た。

佐田ノ辻では、心地よい風が吹き暑くもなく寒くもない、仕  
事がし易い時節を迎えている。

毛布の間に防虫防臭錠を挟む人、管理棟の食材・食器の在庫調  
査と整理、管理棟保管の木炭を階下倉庫へ保管替えと整理、チェ  
ンソーの点検及びロープ類と滑車確認、行者堂の清掃とシキビ替

え、トイレ清掃する人と適宜別れて仕事をこなす。

東側の屋外で昼食とする。そこへ笠捨山に登って来た高階さん  
達3人が戻って来られ、今朝7時半に着き登り、食事済とのこと  
で直ぐに下山される。程なく福島県会津地方の男性が来て、玉置  
神社までの水場を尋ねられる。以前息子と歩いたが今回断られた  
と・・・大峰奥駈道の尾根の上下により、思ったよりも体力的に  
きつく、葛川辻でテントを張るとのこと。コーヒーとみかん(カラ  
ー)を差し入れする。家具の仕事をしているが震災でかなり影響が  
あると・・・本宮からバスで吉野に戻り、宿に駐車した車を取り  
に戻り、帰郷することのこと。

デザートに益田さん苺、生熊さんの林檎を賞味する。

午後より生熊・川島は、水場径の要補修段差の調査(約35段)。

畑林清子・生熊千満子さんは、水場の点検に降りる

既存の写真掲示ラックは、連休中の小屋番時に乾・榎本さんに  
より再組立と洗剤拭きにより掲示使用に支障ない事から、先般  
荷上げた写真掲示ラックは、新規掲示板として東側板壁に沖  
崎・畑林秀・益田さんにより設置された。

最後に、行者堂で玉岡さんの早期回復と安全祈願を生熊さん導  
師で勤行し下山。

### 行動タイム

新宮 7:50→9:35 登山口 9:50→10:35 行仙宿→各自作業→11:50  
昼食 13:00→作業→行仙宿 14:25→14:55 登山口 15:00→16:30  
新宮。(川島 記)

勤行を終えて記念撮影



登山口でいざ出発！



屋外東側で日差しを浴び昼食

